

JR東日本労働組合長野地本

業務ニュース

2023年12月27日発行

No.11

発行責任者 臼井 幸一

編集 地本業務部

12月25日に「2024年3月ダイヤ改正」及び「現業機関における柔軟な働き方の実現について(業務体制の見直し含む)」の会社提案を受ける！

《2024年ダイヤ改正施策》(会社提案 要旨)

- ①北陸新幹線の敦賀開業 ②北陸新幹線列車の増発
※「かがやき」は朝夕時間帯を中心に9往復運転。「はくたか」は5往復運転。
※東京～敦賀間、最速達列車比で現行よりも上りで55分。下りで50分の運転時間の短縮。
※臨時列車を定期列車にする。(かがやき504号・508号・511号・517号)
- ③特急「あずさ」の編成両数の変更
※9両編成から12両編成へ変更する。(あずさ4号・46号(南小谷～松本間は9両編成)・41号・53号)
- ④各線区における輸送体系見直し
※特急「信州1号」の運転する時間と停車駅の変更。
(主要駅発着時刻 塩尻駅発6:58 松本発7:10 長野駅着8:09)(新規停車駅 田沢駅 新たに通過する駅 篠ノ井駅)
※塩尻～松本間で普通列車の増発と日中時間帯の列車運転間隔の変更。
(塩尻発7:05を新規設定)(松本発9:13 15:24 塩尻発9:05 14:35の列車増発)
(小淵沢駅発19:40を新規設定)(小海線中込～小諸間10時台～15時台の列車パターンダイヤ化)
- ⑤小海線一部区間での乗降方法の変更
※小諸～中込間は、ワンマン列車含めて全ての車両のドアから乗降可能となる。
- ⑥篠ノ井線、大糸線、中央本線(辰野経由)、小海線の輸送力適正化(日中時間帯と夜間帯の列車削減)
※篠ノ井線(松本発21:41 塩尻発22:10)の2本。 ※大糸線(有明発20:47 松本発21:33)の2本。
※中央本線(辰野経由)(塩尻発8:20 14:19 辰野発8:57 15:05)の4本。
※小海線(小諸発20:13 中込発20:54)の2本。
※列車本数削減のため、各線区で列車運転間隔の調整を実施する。
- ⑦列車設定キロの増減 $\Delta 99.2$ km
※削減分 197.4 km 追加分 98.2 km トータル $\Delta 99.2$ km
- ⑧乗務員運用
※ダイヤ改正に伴う各区所の乗務員運用の見直しと担当列車見直しによる乗務員運用の見直し。

《現業機関における柔軟な働き方の実現について》&《業務体制の見直し》(会社提案 要旨)

○実施個所と実施内容

- ・「松本営業統括センター」と「松本運輸区」を融合して「松本統括センター」を設置する。
※松本統括センター
管理「変形等22交代8計30」 一般「変形等22交代20計42」 乗務員「日勤32泊り38計70」
- ・「長野営業統括センター」と「長野総合運輸区」を融合して「長野統括センター」を設置する。
※長野統括センター
管理「変形等15交代8計23」 一般「変形等24交代20計44」 乗務員「日勤33泊り45計78」
- ※小海線統括センター
・管理「変形等8交代2計10」 一般「変形等5交代2計7」 乗務員「日勤11泊り5計16」
(乗務員行路がDC交番と相互運用交番となり、車掌行路が削減)

○ダイヤ改正&各施策 実施日 2024年3月16日(土)